

# 体験観光への期待膨らむ



発行所  
株式会社 道北日報社  
士別市大通東11丁目  
電話(代) 23-3108 番  
FAX 23-3109 番

## 剣淵川でカヌーに乗り調査

### 「地球の歩き方」 「豊かな自然に感動する」 中村氏ら来町

### エコツアー事業候補地に 剣淵町

剣淵川で31日にエコツアーカヌー体験の実地調査が行われ、旅行ガイドブックなどで知られる旅行会社「地球の歩き方」の中村竹志代表取締役社長らが剣淵川でカヌーの川下りを体験した。「地球の歩き方」では地球環境や自然の大切さを体験する「MOTTAINAIツアー」をアジアやアフリカなど世界各国を対象に企画しており、国内ツアーの体験プログラムに剣淵川の川下りを組み込むことを検討していきたいとしている。



川下りを体験した中村氏ら

「地球の歩き方」は海外旅行の旅行ガイドブックとして1979年に刊行し、アジアやヨーロッパ、アフリカなど世界各地のガイドブックが個人旅行者に愛読されている。

また旅行会社として国内外のツアーを企画するなどもしている。「MOTTAINAIツアー」は、地球温暖化や自然破壊、野生動物の現状、地球環境に対する取り組みなどを体験しな

から「MOTTAINAI精神」を広めようとしているもので、アジア各国、中南米、アフリカ、ヨーロッパなど世界の国々へ行き、地球環境の現状や各国の取り組みなどを体験できるもの。国内でも天ぷら油の廃油をリサイクルした燃料でのバスツアーなどが行われており、道内では「旭山動物園の動物から地球環境を考える」牧場でのエコライフを体験するなどのプログラムが企画されている。

この日はMOTTAINAIツアー事業の候補地として「地球の歩き方」の中村氏と、「地球の歩き方」顧問でもある榊トレンズの橋元廉彦代表取締役が剣淵町を訪れ、剣淵川でカヌー体験の実地調査を行った。カヌー体験には地元のカヌー愛好者である天野利孝さんがガイド役を務め、剣淵川にかかる8線橋から土別市の観月橋カヌーポイントまでの川下りを行った。

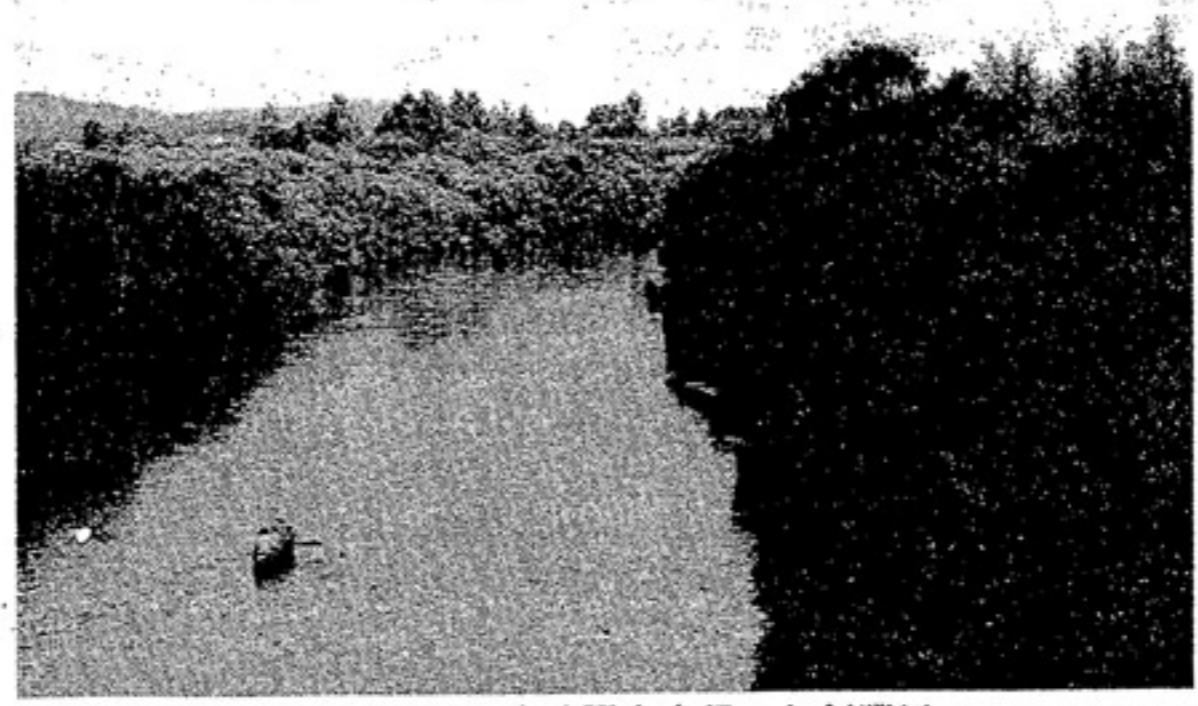
長雨で若干水量が多かったものの、この日は晴天に恵まれ、中村氏は「ゆつたりとした川下りを堪能し、アオサギやカワセミなどの野鳥の姿を間近で見ることができたという。」

2時間ほどの川下りを体験した中村氏は「川面に近い目線でとても楽しい。地元の人たちは『何もなし』というが、何もなしはささげがあるが、訪れた人は豊かな自然に感動して帰るだろう」と話していた。

旅行会社勤務の経験がある榊トレンズの橋元氏も「剣淵川での川下りはジャングルクルーズのような楽しみがあり、蛇行が少なく安全に楽しむことができそう」と感想を話していた。

中村氏はMOTTAINAIツアーの国内プログラムに組み込むことも検討しており、早ければ今年の10月ごろに試験的に川下りツアーを企画したいと話していた。

剣淵町では絵本の里活性化研究会(西尾政男会長)と、東川町の(有)アグリテック(井下佳和代表)がアルパカ牧場の設立に向け準備を進めており、自然環境を活かした夏季・冬季の体験観光プログラムも検討している。



エコツアーの実地調査を行った剣淵川